

## 2025年度 パレット保育園・センター南 事業報告書

### ●保育理念

“ひとりひとりに生きる力を！”

1. ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。
2. ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。
3. ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます

### ●保育の目標

スタッフは園児が喜びをもって自発的に活動できるような言葉かけをし、自らがお手本となるような行動をとる。

スタッフは子どもたちの安全・安心で健康的な生活を確保し、主体性を尊重しながら保育する。

スタッフは家族の一員としてお互いを認め合い、子どもたちの成長のために、全員で一人ひとりの子どもたちを受けとめていく。

### ●保育の方針

「保育所保育指針」に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」・「人間関係」・「環境」・「言葉」・「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合せ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。

1. スタッフの基本行動原則「丁寧・賞賛・感覚・微笑・予習＝余裕」に基づき、保育者チームは、大きな家族の構成員として見守る保育を実践します。
2. “個性豊かで元気な頭の良い子”を願う保護者のニーズに応えられる「幼児プログラム」を実践します。幼児教育プログラム実践の要諦は、子ども自身の「意欲」です。「やりたい、知りたい」という好奇心を大切にします。
3. 自分のことはできる限り自分でできる喜びを得る、そして最後までやり抜く、頑張れる「自立支援」保育を実践します。
4. 縦割り実践教育形態を通じ、小さな子、弱い子を思いやれる、仲間との関係を大切にする、など他者との中で「自律」する力をつける保育を実践します。
5. 自分は愛されている、そして、頑張ればやり通すことができるという「自尊感情」を育み、人間の土台づくりをする保育を実践します。

## 1. 中期事業計画のテーマ

- 経営の安定化
- 選ばれる保育園づくり

## 2. 園目標 ～中期事業計画のテーマを踏まえた～

Smile&challenge ～今より一步 より深い話し合いを～

## 3. 原因分析

### 達成または未達成の原因および次年度への課題

今年度の園目標になっている「smile&challenge」については、昨年度の相健笑話を確立しながら、笑顔で取り組めた。

Challenge の部分では、細分化して個々でそれぞれが、自分の役割を認識し、それについて取り組むことができたように感じる。

玩具拭きや玩具点検もこまめに行えたり、冬野菜の栽培についても幼児クラスでは取り組むこともできた。

地域との交流も増え、今後は関わりをもつだけでなく、手作りおもちゃを作ったりとさらなる向上をしていきたいと思う。

お部屋やクラスの中ではこまめに話し合いや振り返りの時間も持つことが出来たが、園全体での縦割りでの振り返りや話し合いの時間はあまり作ることができなかったため、来年度にはそういった時間も積極的に取り入れていきたいと思う。行事では、発表会で 4・5 歳児と一緒に合奏に取り組むという新しい挑戦もし、音の重なりを一緒に楽しみ、表現する体験もすることができた。今後は、部屋の壁を越えて、今以上に異年齢児での交流を深めていき、日ごろの保育で密に関われる時間を作っていきたいと思う。

## 4. 開所日及び開所時間

事業	開所時間
平日	7:00～20:00
土曜日	7:00～18:00
休園日	日・祝日・12/29～1/3

## 5. 定員数

### ・利用定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
3	7	7	7	8	8	40

### ・入所児童数

3月31日時点

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
5	7	8	8	9	10	47

## 6. 年間行事実施日

月	行事等の名称	対象者 ※保護者なしなら変更
5月17日	親子レクリエーション	園児とその保護者 ※人数はなし
6月7日	個人面談	園児とその保護者
7月26日	夏祭り	園児とその保護者
10月	パレット学習タイム参観	園児とその保護者
11月8日	運動会	園児とその保護者
1月10日	個人面談	園児とその保護者
2月14日	発表会	園児とその保護者
3月20日	卒園式	卒園児とその保護者
2月28日	入園説明会	新入園児とその保護者
3月28日	進級説明会	進級園児とその保護者

## 7. SDGs に係る取り組み結果

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に基づく月案、週案を作成し、日々振り返りを実践できた。</li> <li>・臨床心理士、療育センター、子育て支援センター等の巡回及び、情報共有の実施できた。</li> <li>・旬の食材や郷土料理等を献立に取り入れ提供することができた。</li> <li>・年齢に合った能力開発プログラム、運動プログラム、小学校準備プログラムの実施を計画的に行うことができた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産休、育休の取得をしっかりと取りながら、育休明けに希望通りに復帰する予定となっている。</li> <li>・社員の育児時短勤務の希望に沿って、働きやすい環境を作ることができた。</li> <li>・休暇の希望を吸い上げ、毎日シフト表を作成することができた。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当クラスと希望を考慮し、年間の係分担表を作成をし、協力して保育にあたることができた。</li> <li>・個々の希望に沿った研修計画を立て、研修案内を周知し、とりおこなうことができたが、時間内に終わらせることが課題となったため、来年度には計画的に時間を作っていけるようにしていく必要がある。</li> <li>・役割分担担当の意見交換などを取り入れ、向上心を養った。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て広場を常設（週3で保育室・園庭等の開放）</li> <li>・未就園児を対象にしたイベントや交流保育を行う</li> <li>・子育て相談（対面・電話など）をアピールしていたが、特に需要がなく、日常の遊びに来られた地域の方々の日頃の育児のちょっとした相談に乗ることでサポートをしていた。</li> <li>・日々の保護者とのやり取りや視診による健康状態等の把握ができるように、お迎えや個人面談等で寄り添うことが出来た。</li> <li>・地域の中学生等の職場体験の受け入れをした。ボランティアは受け入れ態勢があることを区役所へ届け出をし、来年度に向けて取り組みを実施できるようにした。</li> <li>・実習生の受け入れを実施しているものの、あまり、申し込みはなく、来年度に向けて学校などにアプローチをかけていく必要がある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賞味期限等を適切に管理し、在庫を抱えすぎない発注の徹底をした。</li> <li>・毎月設備保全チェックを行い、不備に迅速に対応することができた。</li> <li>・使っていない照明のこまめな消灯を行った。</li> <li>・廃材を使った製作活動に取り組んだり、手作り玩具を作成した。</li> </ul>

## 8. 保護者との連携の報告

- コドモンによる家庭との日々の連絡をおこなった
- 個人面談で園児ひとりひとりの成長や園での様子を報告した
- 懇談会では、クラスの様子を伝え、クラスごとの結果や育ちを報告した
- 進級（入園）説明会では、クラスの様子を伝え、クラスごとの目標や計画を報告  
また、成長発達面で起こりうる悩みなどの共有をした
- 行事の際に、こまかな連絡をコドモンで配信をした

## 9. 第三者評価に対する取組（もしくはサービス向上に向けた取組）

- 5年に1回、第三者評価を受審
- 姉妹園施設長による環境整備チェックを実施し、環境整備に取り組んだ。その際、スタッフの良いところ目を見てもらって、自身の保育の見直しにもなるように、皆でいいところを共有しあった。

## 10. セルフモニタリングの実施報告

- 園内での怪我や園児による喧嘩などの報告を都度おこなった
- 職員会議や昼礼で、共有した
- 事故防止・園外保育マニュアルを見直し、研修をおこなった
- 毎月の園会議で保育の人権擁護に関わるグループワークを行った。

## 11. 苦情対応・解決の取組

- 園で独自の苦情解決窓口を設置し、解決への取り組みを図った
- 苦情申し立ての流れを保育園の玄関に掲示した
- 第三者委員の連絡先を掲示した

## 12. 職員の研修

- 年間研修計画に基づき、園内研修を実施した
- 個人ごとの研修計画・記録一覧に基づき、行政等主催の研修に参加した
- 姉妹園での保育士の交換保育をおこなった
- 給食、事務スタッフは年2回の全体研修を実施した
- 保育の質向上研修を毎園会議の時に実施した。
- 近隣の公開保育の視察研修に参加した。
- こども家庭庁主催の施設長・副施設長研修へ参加し、職員へタイムマネジメントや自己啓発に取り組める促しを行った。
  - 近隣の運動研究をしている企業からの運動遊びの研修に参加した。

### 13. 職員の労働条件・労働環境保持のための取組

- ・ 就業規則、賃金規程、36、32、24協定を制定し、労働基準監督署へ届け出た
- ・ 育児休暇、介護休暇について制定
- ・ 退職金規程を制定
- ・ 法人総務部にて、雇用管理の改善等に関する事項にかかる相談窓口を設置
- ・ 就業中のノンコンタクトタイムの確立に取り組み始め、定着し始めている。  
来年度に向けて、毎日のノンコタクトタイムの確立を実施できるように、シフト表に明示をし、ノー残業で就業できる環境作りに取り組んでいく。

### 14. 児童・職員の健康管理

- ・ 園児の健診については年に2回学校保健安全法に規定する健康診断に準じて実施した
- ・ 職員の健康診断は4月、5月、6月に順次受診（人間ドック希望者は個々受診）した
- ・ 中途採用者の場合は、採用前に実施・未実施の確認した
- ・ 感染症予防・衛生管理マニュアルに基づき、研修および感染症の予防に努めた
- ・ 園内で発生した場合は、速やかに掲示またはメール配信にて、保護者へ状況説明した

### 15. 安全安心に対する取組

#### (1) 事故の防止策と対応策

- ・ 全スタッフ配布のハンドブックに「安全に関する規定」等を掲載し、職員に周知した
- ・ 事故防止・園外保育マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった
- ・ 園会議毎に、各部屋の環境整備の時間を作り、安全確認をおこなった

#### (2) 不審者対策

- ・ 不審者対策を目的とした避難訓練を年に1回TMDと防災センターと協力しておこなった
- ・ 不審者対応マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった
- ・ 不審者対応訓練の自園強化をし、2か月毎に行い、避難訓練同様に落ち着いて動けるように取り組んだ。

#### (3) 防火・防災対策

- ・ 毎月避難訓練および消火訓練を実施した
- ・ 災害時の地域との連携や支援、ボランティア受け入れ等を毎月の訓練時に確認した
- ・ 消防用設備の点検については専門業者へ委託し、年に2度実施した
- ・ 危機管理マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった

## 16. 虐待防止の取組

- 児童虐待対応マニュアルにて研修を実施した
- 希望職員は外部研修へ参加し、研修内容を職員に共有した
- 考えられる場面での子どもへの関わりについてのグループワークに取り組み日々の意識を高めていった。

## 17. 給食に対する取組

- 給食マニュアルにて研修を実施した
- 物語メニュー、あそびごころのある盛り付けチームにて給食の質を向上に努めた
- 年に2回全体研修をおこない、スキルアップを図った
- 年間の食育計画を保育者と共に、年度初めに考え、年間通して毎月の食育と一緒に取り組んでいる。

## 18. 地域交流に対する取組

- 地域の人や施設と関わりを持ち、相互理解と連携を図る
- 子どもたちが地域に対する理解を深め、生活していく場として親しみを感じる
- 保育の必要にかかわらず、親と子の育ちの場としての役割を持つ
- 園児募集の場としてのイベントも開催する
- 子育て広場常設園とし、毎月のイベントや日々の園庭・保育室開放をおこなった

●今年度は苦情対応がありませんでした。